

反射防止剤 CS-MH1 (開発品)

自然界のモスアイ（蛾の目）構造に着想を得て
光の反射を極限まで抑える塗料の開発に成功

特徴

- 微細な表面形成による反射防止
- 樹脂粒子を含まない
- フラットな塗膜表面
- 金属、プラスチックの各種基材に密着
- 可視光～近赤外領域まで反射防止
- トルエン/MIBK フリー

想定シーン

- ✓ カメラなどの光学機器
- ✓ スマートフォン用部品
- ✓ ヘッドアップディスプレイ用部品
- ✓ LiDAR用部品
- ✓ ADAS用部品
- ✓ 検査装置用部品
- ✓ 鉄道、道路などの信号機用反射防止
- ✓ その他、反射を抑えたい部品

◆適用基材◆

PC	ABS	PET	PP	AI
○	○	○	○	○

※グレードによっては適用できない場合があります

◆被膜特性◆

[混合条件] 主剤:硬化剤:希釈溶剤(酢酸ブチル) = 13 : 1 : 12
[乾燥条件] 80℃ 4h [塗布] スプレー塗布

項目	評価結果
材料構成	2液
推奨塗膜厚み (μm)	30~40
全反射 (可視/近赤外) ¹⁾	1.9%/2.4%
粗さ Ra/Rz (μm) ²⁾	約2/約10
密着性 ³⁾	○
耐光性 ⁴⁾	2%
耐熱性 ⁵⁾	変化なし
熱衝撃 ⁶⁾	変化なし

◆製品構成◆

項目	主剤	硬化剤
主成分	アクリル ポリオール	ポリイソシアネート
外観	黒色液体	淡黄色液体

- 1) 可視: 400-700nm平均、近赤外: 900-1500nm平均
- 2) スプレー塗布時。塗布条件により変化します
- 3) 基材: アルミ JIS5400-8.5 クロスカット
- 4) 屋外1年相当、照射前後での反射率の変化量
- 5) 210℃24hr、投入前後での反射率の変化量
- 6) サイクル試験投入前後での反射率の変化量
サイクル: 39.7℃97%RH×24h → -18℃×20h → 25℃×4hを5サイクル

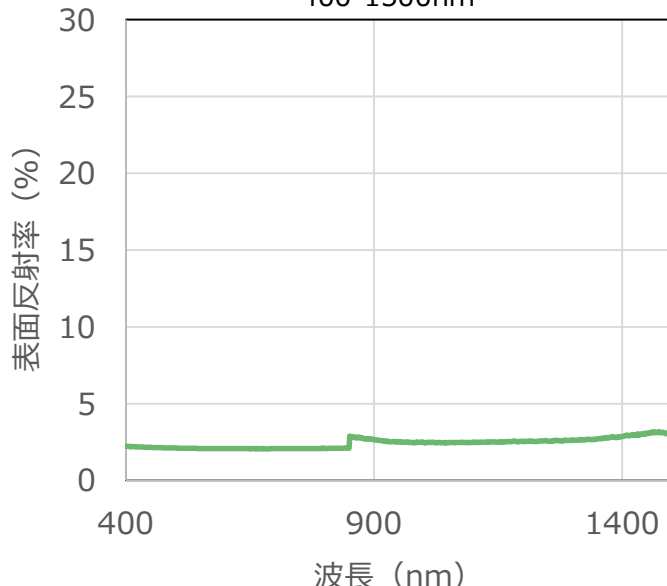
・2026年7月上市予定 *1

*1: 本日程は現時点での予定であり、変更となる可能性があります。予めご了承くださいますようお願い申し上げます

RoHS /RoHS2,REACH(SVHC)対応

環境対応

波長領域における表面反射率 (入射角7°)
400-1500nm



※850nm付近の段差は、測定機の波長切り替えに伴うものです